

デジタル防災行政無線システムの導入事例（石川県）

1 目的

防災行政無線の高度化、高機能化を図り、災害時の迅速な防災情報の収集・的確な伝達を行うことを目的として、平成5年10月から供用していた従来の60MHz帯アナログ方式から260MHz帯デジタル方式で更新したものを。

2 システムの概要

(1) 無線方式 地上系デジタル無線(260MHz帯)

(2) 無線局数(構成) 統制局(県庁)1、FWA中継局16、中継基地局12、
端末局(土木事務所等)17、移動局(車載型)82、移動局(携帯型)82

(3) 整備概要

全体事業費 730,980千円

整備スケジュール

・平成17年度 伝搬調査、実施設計

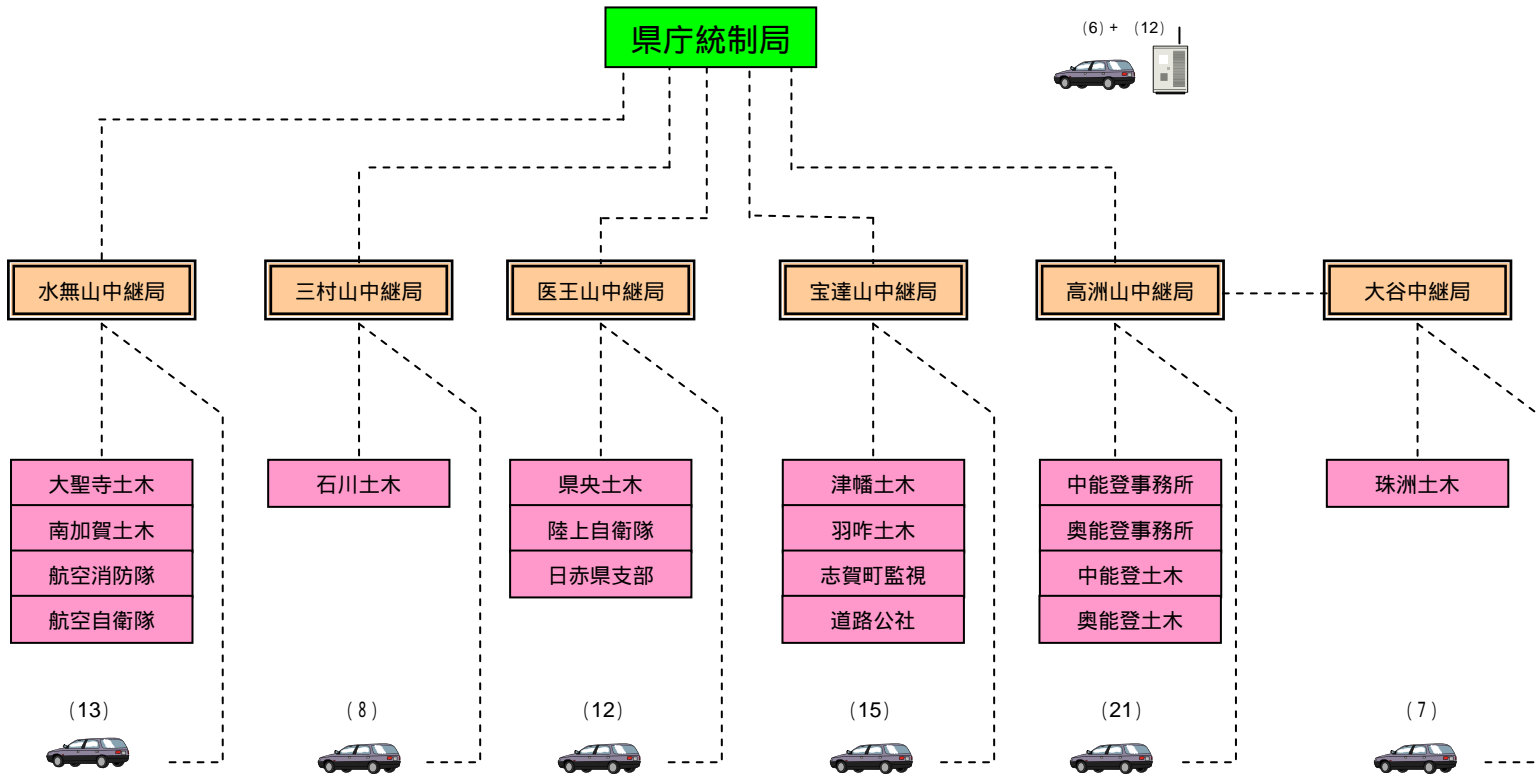
・平成18～19年度 整備工事

運用開始 平成19年12月1日

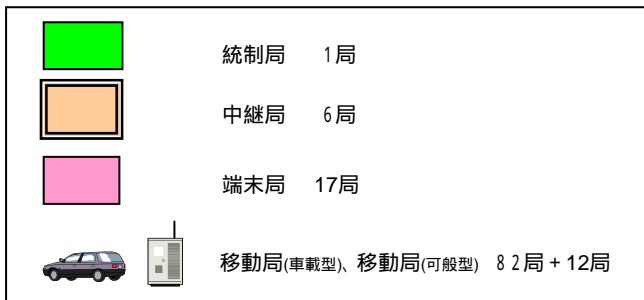
3 新システム(260MHz帯デジタル)の主な特徴

- ・IMS(いしかわマルチメディアスーパーハイウェイ)を一部活用し整備したことにより、コストの縮減が図られた。
- ・1中継所につき1波(4チャンネル)割当され、現在の1回線から3回線の使用が可能となった。
- ・双方向の音声通信が可能となり、また、音声だけでなく、文字情報や画像等のデータの送信も可能となった。
- ・中継所を6カ所から12カ所に増やすことにより、県内のカバー率が現行の約70%から約80%に改善された。

石川県防災行政無線地上系システム構成図(旧システム)



凡例



凡例



